



志村学園

令和7年1月8日
東京都立志村学園
校長 並木信治
高等部就業技術科
第9号

新たな年に

校長 並木 信治

令和7年、新年を迎えました。この年末年始は、暦の関係で例年になく大型の休暇期間となりました。皆様もそれぞれにゆったりと過ごされたことと思います。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

今年己年。志村学園が開校した平成25年も己年でしたので、ちょうど干支が一回りしたことになります。60年で一回りする十干十二支の暦では、今年乙巳（きのとみ）であるそうで、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つとされています。本年も保護者の皆様、地域の皆様に支えのもと、前進と成長を続ける志村学園でありたいと思います。

本日より、令和6年度後期後半の教育活動が始まりました。それぞれの学部・学年で今年度の総仕上げに取り掛かる時期です。特に、高等部3年生の皆さんにとっては、年度末までの3か月間が12年間の学校生活を締めくくる、大変重要な期間となります。一日一日を大切に、充実した学校生活を送ってほしいと、心から願っています。教職員も、社会にはばたく卒業生を全力でサポートしてまいります。

1月、就業技術科では2年生の修学旅行、肢体不自由教育部門では高等部の出願及び入学相談と、大切な行事も控えています。引き続き、各御家庭におかれましても、適切な感染症対策のもと、健康管理に十分御留意いただきますよう、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



本年もよろしく願いいたします

副校長 加部 務

新年、明けましておめでとうございます。

令和7年、新たな年を迎えました。1月早々に、2年生の修学旅行、そして、サッカー部の全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権大会の宿泊があります。感染症の流行が気になる時期となりますので、日頃の感染症対策を徹底して、2年生はこれまでの学習の成果を、サッカー部はこれまでの練習の成果を思う存分発揮してください。そして、これまでにない貴重な体験を通して、今後の学校生活を一層豊かなものにしてほしいと願っています。

3年生は進路決定に向けてもう一踏ん張りです。それぞれの進路を決定し、社会人への新たな目標をもって卒業式を迎えてほしいと願っています。1年生は、間もなく系列決定を行います。自分の強みと課題に向き合い、さらなる成長を願っています。

令和7年も、教育活動の一層の充実に向けて教職員一同努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



第33回総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」出演について 報告

ミュージカル部顧問 石原 まい

昨年12月21日(土)に練馬文化センター小ホールにて行われた総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」に本校ミュージカル部が出演しました。当日は昔話をモチーフにしたミュージカル「KASAJIZO」を発表しました。初めて足を踏み入れる会場に緊張する様子も見られましたが、リハーサルで入念に動きや立ち位置を確認し、本番ではどの部員も自分の役柄を演じ切ることができました。校内練習では味わえない本格的な照明や音響、大勢のお客様からの温かい手拍子や拍手のお陰で、楽屋に戻る頃には皆達成感溢れる表情でいっぱいでした。当日まで様々な御支援、御協力をいただき、本当にありがとうございました。



第10回全国知的障がい特別支援学校高等部サッカー選手権大会 出場について

サッカー部顧問 出野 裕也

昨年、11月3日(日)第10回全国知的障がい特別支援学校高等部サッカー選手権大会東京都予選会、12月22日(日)関東予選会が開催されました。東京都予選会には就業技術科の4校(永福、南大沢、水元小合、志村)が参加し、決勝で南大沢学園と対戦しました。前半5分に1年坂本白さんのミドルシュートが決まり、1-0と先制しました。11分にも2年長坪真衣斗さんがコーナーキックからゴールを決め、2-0と勝利をしました。東京予選は、昨年に引き続き2連覇となりました。

関東予選会には関東から9校が参加し、関東代表の3枠を争いました。志村学園は、一回戦で永福学園を破り、代表決定戦に駒を進めた千葉県代表の市川大野高等学園と対戦しました。前半は終始主導権を握り、得点のチャンスも多くありましたが、決めきれないという展開が続きました。20分、一瞬の隙をつかれ決定的なピンチを迎えますが、2年小倉拓真さんの体を張った守備でしのぎました。ハーフタイムのミーティングで、志村学園の強みである「走る」「戦う」ことを再確認し、勝負の後半戦へ。後半開始早々、コーナーキックを獲得すると相手のオウンゴールを誘い、待望の先制点をあげました。その後は、志村学園の一方的なペースとなりテンポよく追加点をあげ、合計スコア4-0で全国大会出場を決めました。1月24日から静岡県藤枝市に入り、25日よりいよいよ全国大会の戦いが始まります。昨年度の3年生の思いも背負い、2018年以来の優勝を目指して最後まで走り、戦ってきます。引き続き、応援よろしくお願いたします。

